

## 8月6日(水) 食育 (わんぱく畑教室)

この教室は、学童期にあたる児童館の児童60名を対象に子どもたちが農業体験をし、自らの手で安全な食べ物を作り、食べ物の大切さを理解し、食生活の乱れを改善することを目的に開催されました。

近くの農業 芳賀吉幸さんの畑を借りして、ピーマン、パプリカ、とうもろこし、ごまを作付けして収穫までを体験しました。



▲ごまの花の前で記念撮影

## 8月26日(火) ボランティア・サポート・プログラム 協定締結 ~NPO法人ハッピーロードネット~



▲協定締結の様子

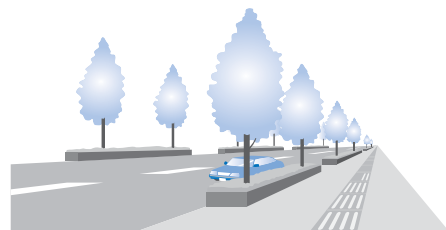


▲前列 右から伊藤所長、山田町長、西本理事長、後列は関係者の皆さん

国土交通省磐城国道事務所において、8月26日にNPO法人ハッピーロードネット(西本由美子理事長)と磐城国道事務所長、広野町長、双葉町長でボランティア・サポート・プログラム協定の締結をしました。

「ボランティア・サポート・プログラム」とは、道路を慈しみ、自分たちの住んでいる地域をきれいにしたいという自然な気持ちを形あるものにしようと、アメリカのボランティアの人たちが考え出したものです。具体的には、活動実施団体(NPO法人ハッピーロードネット)と国道6号線管理者(磐城国道事務所)及び協力者(広野町・双葉町)との間で協定を結び、決められた内容に基づき清掃、植栽管理などを行うこととなります。

当面国道6号線広野町大字下北迫地内(岩沢交差点付近)と、双葉町大字新山地区(双葉厚生病院入口交差点・久保前地下道付近)で「みち」をきれいにしようという活動からはじまって、地域コミュニティの活性化を目指します。



## 8月3日(日)~6日(水) 全国のサッカー少年が 頂点を目指して



▲プレーのひとつひとつに声援が送られました

第32回全日本少年サッカー大会がJ  
ヴィレッジで開催され、予選リーグが  
行われました。

全国の厳しい予選を勝ち抜いた全48  
チームが熱戦を繰り広げました。(東京  
都は2チーム出場)大会は埼玉県代表  
のFC浦和が愛知県代表の名古屋グラ  
ンパスU-12を2対1で下し、6年ぶ  
り4回目の優勝を果たしました。

大会期間中は選手たちを応援しよう  
と全国各地からたくさん保護者や関係  
者などが訪れました。福島県代表「ア  
ストロン」(いわき)は予選リーグ通算  
1勝2敗2分けて決勝トーナメント進  
出はなりませんでした。



▶ピッチの外では応援の保護者  
らで混みあいました

## 8月9日(土)~11日(日) JFA アカデミーが全国の舞台へ



▲JFAアカデミー  
福島3期生

シュートを放つ  
JFAアカデミー福島  
佐藤選手(4番)▶



第23回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会がJヴィレッジで開催され、東北地区代表のJFAアカデミー福島が出場し予選グループ3試合を戦いました。大会に先立って、JFAアカデミーの出場メンバーが全国大会出場報告のため町長を訪れました。3年間でたくましく成長した選手たちに対して山田町長が「全国大会ではベストを尽くしてがんばってほしい」とエールを送りました。

残念ながら予選突破とはなりませんでしたが、目の前  
にある試合結果にこだわるのではなく今後、自分たちが  
成長するには何が必要なのか、課  
題が見つかった大会のようでした。